

# 2026年度 短期&長期留学ガイダンス



# Agenda

- ① 留学って？
- ② 留学の『？』を解決！基本ワード早わかり
- ③ 短期留学VS長期留学
- ④ 短期留学に参加しよう！
- ⑤ 留学を充実させよう！

留学って？

# なぜ、今、留学なのか？

留学価値：

- 語学力だけでは価値が小さくなっている
- 「正解のない場所でサバイバルする力」や「多角的な視点」など、留学先で得られる経験を就活や人生でどう役立つか考えてから留学へ出発しよう
- たくさんのお金と時間を費やすので、留学という機会を最大限に活かすために、**明確な留学の目的考えよう**

目的を考えるとこんなメリットが！

- ✓ 学修や研究の方向性が明確になる
- ✓ 留学先を選択する際の基準となる
- ✓ モチベーションの維持につながる
- ✓ 将来のキャリアにつながる経験ができる

# 留学の基本ワード 早わかり

# 留学の『？』を解決！ 基本ワード早わかり①

## □奨学金：【返済不要！】

大学から支給されるものは、返さなくていい「給付型」が基本。

## □単位認定：【留学中も卒業にカウント！】

現地で取った単位を、大学の卒業単位として認められる仕組み。

## □認定留学：【大学公認の特待スタイル】

大学の許可を得ているプログラム・制度で留学。

奨学金や単位認定など、手厚いサポートが魅力！

## □私費留学：【自由度100%！】

時期も場所も内容も、すべて自分でカスタマイズできる自由な留学。

# 留学の『？』を解決！ 基本ワード早わかり②

## □学部コース：【現地の学生とガチで学ぶ】

語学だけでなく、現地の大学生と一緒に専門科目を履修する「挑戦型」。

## □語学コース：【まずは言葉の壁を突破！】

語学力に不安があっても大丈夫。レベル別クラスで着実に力をつける「成長型」。

## □語学要件：【日本でどこまで高められるか】

長期留学における学部コースへの切符を掴むための「パスポート」。早めの対策が吉！

# 短期留学VS長期留学

# 短期留学・長期留学の違い

留学形態／項目	短期留学(1週間～1ヶ月程度)	長期留学(半年～1年)
主な時期	夏休み／春休みの長期休暇	学期中(在学／休学)
目的	<ul style="list-style-type: none"><li>異文化体験、語学のきっかけ作り</li><li>海外生活体験</li></ul>	<ul style="list-style-type: none"><li>専門科目の履修、深い語学力向上</li></ul>
メリット	<ul style="list-style-type: none"><li>単位や就活への影響が少ない</li><li>長期留学より少ない費用で留学ができる</li><li>初海外でも安心！</li></ul>	<ul style="list-style-type: none"><li>現地の学生と同じ生活ができる</li><li>単位認定を多くできる</li></ul>
費用	<ul style="list-style-type: none"><li>40万円～</li></ul>	<ul style="list-style-type: none"><li>150万円～(アジア圏1年間)</li><li>400万円～(英語圏1年間)</li></ul>

# 短期留学・長期留学 制度による違い

5/8(金)昼休み説明会

留学形態／項目	短期留学(1週間～1ヶ月程度)	長期留学(半年～1年)
説明会	<ul style="list-style-type: none"> <li>夏季は4～6月上旬のお昼休み</li> <li>春季は9～10月のお昼休み</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>5～7月上旬お昼休み</li> </ul>
利用できる制度	<ul style="list-style-type: none"> <li>短期語学研修(協定校)</li> <li>短期語学研修(認定)</li> <li>短期語学研修(認定外)</li> <li>現地研修</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>協定校留学制度</li> <li>奨学金留学制度</li> <li>減免留学制度</li> <li>私費留学(在学、休学)</li> <li>学科独自の留学制度(3か月～2年)</li> </ul>
参加の仕方	<ol style="list-style-type: none"> <li>1. 学期はじめに学内の説明会へ参加</li> <li>2. 催行会社へ申込み(現地研修は履修登録を行う)</li> <li>3. 催行会社/大学指定の窓口で費用の支払い</li> </ol>	<ol style="list-style-type: none"> <li>1. 出発年度の前年度に学内で実施される選考試験へ応募</li> <li>2. 選考試験の受験、合格</li> </ol>
単位認定	<ul style="list-style-type: none"> <li>なし(現地授業時間が45時間未満、文化体験のみなど)</li> <li>2単位～(現地授業時間が45時間以上の場合、所属学科の語学に関する科目等へ認定)</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>語学コース(2単位～)</li> <li>学部コース(所属学科の科目を現地で履修した場合、2単位～最大40単位ほど可能)</li> </ul>
奨学金	<ul style="list-style-type: none"> <li>3万円～/月(留学先による)</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>3～10万円/月(留学先、留学制度による)</li> <li>授業料免除(留学制度による)</li> </ul>

# 長期留学 留学時期による違い

留学時期／項目	2年生	3年生以上
準備開始時期	1年生の前期	2年生以上の前期 (留学開始1年前から)
メリット	<ul style="list-style-type: none"> <li>インターンシップや就活への影響が少ない</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>卒業単位の心配が少ない</li> <li>東松山開講科目を3, 4年生で履修する必要がほとんどない</li> </ul>
デメリット	<ul style="list-style-type: none"> <li>留学中の認定単位が少ない場合、3, 4年生で就活と同時並行で授業を多く履修する必要がある</li> <li>東松山開講科目を3, 4年生で履修する必要がある</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>インターンシップに参加できない</li> <li>就職活動に出遅れる(帰国時に募集を締め切っている会社がある)</li> </ul>
デメリットへの対策	<ul style="list-style-type: none"> <li>語学力を上げて、現地で専門科目を履修し、単位認定数を多くする</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>留学前にできることをする</li> <li>オンラインで応募できるインターンシップや企業を調べてエントリーする</li> <li>現地で就職活動をおこなう</li> </ul>

# 長期留学

## 現地の所属コースによる違い

コース/項目	語学コース/語学学校	学部コース
語学条件	<p>基本的になし</p> <p>※現地で最終的に学部コースにも行きたい場合は一定の語学条件あり</p>	<p>CEFR B2以上</p> <p>(中上級、日常会話+自分の意見を詳しく述べられる)</p>
履修内容	<p>現地の言語「を」学ぶ</p>	<p>現地の言語「で」専門科目を学ぶ</p> <p>(経済学や社会学など)</p>
メリット	<ul style="list-style-type: none"> <li>• 求められる語学条件がほとんどない</li> <li>• 留学先によっては留学開始時期を柔軟に選ぶことができる</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>• 現地のネイティブの学生と同じ授業を履修できる</li> <li>• 帰国時の単位認定数が多くなる傾向</li> </ul>
懸念点	<ul style="list-style-type: none"> <li>• クラスメートはその言語を学ぶ他国の留学生(現地の人との接点が少ない)</li> <li>• 単位認定数が極端に少なくなる</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>• 留学前に留学先が指定する語学スコアを満たす必要がある(留学先への出願時がリミット)</li> </ul>



# 自分にぴったりの 「長期留学」を選ぼう！

- 協定校留学制度
- 奨学金留学制度
- 減免留学制度
- 私費留学(在学)

在学しながら、個人的に海外の教育機関に留学するもの。本学へ通常通り学費納入必要。単位認定は可。留学先は学科教員が認めた場所。

- 私費留学(休学)

休学をして個人的に海外の教育機関に留学するもの。本学には休学費用のみ支払う。単位認定は不可。留学先は自由。

- 学科独自の留学制度(3か月～2年)
  - ・中期留学(英語学科生限定)
  - ・学科協定校留学
  - ・ダブルディグリープログラム(中国語学科生限定)

5/8(金)昼  
休み説明会



# 自分にぴったりの 「短期留学」を選ぼう！①

## 1. 短期語学研修(協定校・認定):【迷ったらこれ！安心・実績の大学プログラム】

内容:本学が提携・紹介している海外の大学(協定校、他)で語学を学ぶ。

メリット:

協定校の場合は奨学金(3万円)支給。頑張った分が「卒業単位」として認められる(認定型)。大学の「お墨付き」なので、手続きやサポートが手厚い。

こんな人に:初めての留学、おトクに単位も取りたい人！

## 2. 短期語学研修(認定外):【自由度100%！自分流を貫く】

内容:民間の語学学校などを自分または留学エージェント等で手配。

注意点:本学の承認がないため、単位認定や大学のサポートは不可。費用もすべて自己負担。

こんな人に:大学のリストにない国や学校に、自分のタイミングで行きたい人！



# 自分にぴったりの 「短期留学」を選ぼう！②

## 3. 短期海外インターンシップ

【「働く」を経験する！】

内容: 海外の企業やNGO/NPOで実務を経験。

こんな人に: 就活で語れる強みが欲しい、海外で働いてみたい人！語学だけじゃ物足りない人！

## 4. 現地研修 ※一部の学科のみ対象。履修登録が必要。

【学部での学びを海外で実践！】

内容: 特定の科目や学部のプログラムとして、現地調査や実習を行う。

こんな人に: 観光だけでなく、専門に関連した体験をしたい人！

現在申込受付中！

**短期留学**に参加しよう！

# 準備のロードマップ (短期留学編)

## 【Step 1:今】

### □ パスポートの取得・更新

持っていない人は即申請！持っている人も有効期限を確認(入国時に半年以上必要な場合も)。

### □ 行き先、優先事項を洗い出す

どの国で？どのくらいの期間？何を体験したい？

## 【Step 2:2～3ヶ月前】

### □ 説明会への参加

協定校、認定のプログラムなら、まずは説明会日程と申込締切をチェック。

### □ クレジットカードの用意

海外では必須。VISAまたはMasterカードがおすすめ。

## 【Step 3:1～2ヶ月前】

### □ オリエンテーションへの参加、航空券の確保、大学への書類提出

航空券が入っていないプログラムの場合は、早めに予約して費用を抑えよう。

### □ 海外旅行保険への加入

協定校、認定にプログラムへ参加の場合、大学指定の保険へ加入必須！国際交流センターへお問い合わせを。

# 2026年5月

【松】：東松山 【板】：板橋

開催時間はすべて12時30分～13時00分  
東松山はすべて4号館4-0202教室で開催

短期留学説明会

長期留学説明会

日曜日	月曜日	火曜日	水曜日	木曜日	金曜日	土曜日
26	27	28	29	30	1	2
5月はほぼ毎日実施！						
3			6	7	8 【松】長期留学説明会	9
10	11	12 【松】国別留学説明会	13 【松】オーストラリア ゴールドコースト	14 【板1-0411教室】 オーストラリア ゴールドコースト 【松】アイルランド リムリック フィリピン バコロド	15	16
17	18	19 【松】オーストラリア ゴールドコースト	20 【松】フィリピン マニラ	21 【板1-0411教室】 アイルランド リムリック フィリピン バコロド	22 【松】英語圏留学 ※大学主催	23
24	25	26 【松】英語圏留学説明会 ※外部業者主催	27 【板1-0413教室】EF英語研修 ※世界50都市から選べる	28	29 【松】EF英語研修 ※世界50都市から選べる	30

# 2026年6月

【松】：東松山 【板】：板橋

開催時間はすべて12時30分～13時00分  
東松山はすべて4号館4-0202教室で開催

短期留学説明会

長期留学説明会

日曜日	月曜日	火曜日	水曜日	木曜日	金曜日	土曜日
31	1	2	3 【松】アジア・アフリカ圏留学	4	5	6
7	8 【松】EF英語研修 ※世界50都市から選べる	9 【松】フィリピン マニラ	10	5月の波に乗り遅れても まだチャンスあり！		
14	15	16	17			
21	22 【板1-0413教室】EF英語研修 ※世界50都市から選べる	23 【松】英語圏協定校留学	24	25	26	27
28	29	30	1	2 【松】アジア・アフリカ協定校留学	3 【松】中国語圏協定校留学	4

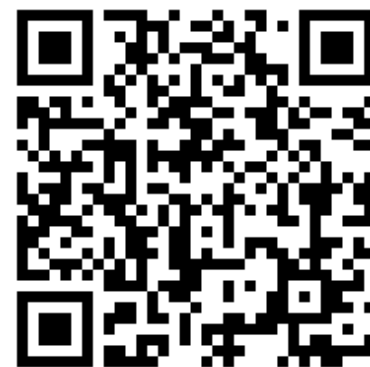


# 2026年度夏休み 短期語学研修プログラム

## Start Your Journey From Here

-SHORT-TERM STUDY  
ABROAD-

国際交流センター



留学を充実させよう！

# 🛡️ 自分の身を守る！ 安全・保険の鉄則

## 1. どこでも行けるわけではない？(渡航方針)

「レベル2以上」はNG:外務省の安全情報で「レベル2(不要不急の渡航中止)」以上の地域には、原則として大学のプログラムでは行けません。

事前のチェックが必須:行きたい国が今どんな状況か、必ず確認しましょう。

## 2. 国に「居場所」を知らせる(たびレジ・在留届)

**「たびレジ」:**短期の人向け。現地の最新安全情報がメールで届きます。

**「在留届」:**3ヶ月以上の人向け。ネットでサクッと登録できます。

なぜ?:テロや災害が起きた際、国があなたの安否を確認し、助けるために必要だからです。

## 3. 保険は「お守り」ではなく「必須装備」

クレカ付帯の保険だけでは危ない！

補償金額が足りなかったり、利用条件が厳しかったりします。

## 大学指定の保険に入ろう

私費留学(休学)以外は、原則として大学指定の保険が必須。

# ☆ 留学生生活を120%充実させる 「3つの極意」

## 1. 「コンフォートゾーン」から一歩外へ！

居心地の良い場所を抜け出そう

「正解」を求めずチャレンジ

## 2. 記録があなたを助ける(記録のチカラ)

日常をメモに残そう、その時のどのよう<sup>に</sup>考えどのよう<sup>に</sup>行動したかが、就活等、将来に役立つ

## 3. カルチャーショックは「成長のサイン」

「違う」を楽しもう

一人で抱え込まない

# 夢をカタチに！ 今日から始める3つのこと

「留学したいかも…」を「行く！」に変えるために！

1. まずはまわりに「相談」を！国際交流センター(または窓口)も活用！

- 国際交流センターでは詳しい資料や、先輩たちの体験記が揃っています。
- 個別相談を利用して、自分の不安をぶつけてみましょう。
- 留学経験のある先輩に話を聞こう。
- SNSや大学のイベントで「リアルな体験談」を聞くと一気に留学が「自分ごと」に。

2. 「説明会・ガイダンス」に参加し情報を逃さない！

- 大学のポスターやポータルサイト、ホームページをこまめにチェック。
- 奨学金や特定のプログラムに特化した説明会は「おトク情報」の宝庫です。

3. 「語学試験」の予定をカレンダーに入れる！

- 今の実力を知ろう。
- まだ勉強不足でもOK。まずはTOEFL®、IELTS、HSKなど試験日を調べて、申し込みボタンを押すことから全てが始まります。

個別に留学相談にも可能！  
お問合せは国際交流センターまで



←国際交流 ホームページ

**E-mail:**

**[ryugaku@jm.daito.ac.jp](mailto:ryugaku@jm.daito.ac.jp)**

※件名に「留学相談」とご記入ください